

令和7年度第3回学校運営協議会議事録

日時 令和8年3月23日

時間 15:45~17:00

(出席者 敬称略)

【委員】

(出席者)

- 佐々木 得人 (本校 PTA 会長)
- 河原 克宣 (桐蔭横浜大学スポーツ科学部客員教授)
- 田中 俊穂 (北里大学看護学部教授)
- 鈴木 秀幸 (青葉区市ケ尾町在住、大場町自治会)
- 藤岡 歩 (あおば支援学校長)
- 富澤 桂子 (本校校長)

(欠席者)

- 内川 隆 (本校同窓会長)
- 佐藤 吏里 (横浜市青葉区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長)
- 飯島 正徳 (東京都市大学理工学部自然科学科教授)
- 濱部 剛 (横浜市立市ケ尾中学校長)

【事務局】

(出席者)

- 河合 義昭 (本校副校長)
- 坂本 和啓 (同 教頭)
- 岩村 美津子 (同 事務長)
- 酒井 脩生 (同 学校運営協議会担当)
- 木崎 悟 (同 学校運営協議会担当)
- 小林 聖 (同 学校運営協議会担当)

【本校各グループリーダー】

(出席者)

- 好田 寛子 (本校 カリキュラム開発グループリーダー)
- 岡 豊 (同 生徒会支援グループリーダー)
- 本屋敷 隆裕 (同 キャリア支援グループリーダー)
- 佐久間 健三 (同 生徒指導グループリーダー)
- 木村 秀樹 (同 管理運営グループリーダー)
- 中村 洋行 (同 地域連携・広報グループリーダー)

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 報告・協議事項 《○委員、●学校》

(1) 部会の報告について (各部部长)

(2) 学校からの報告について (資料4) (河合副校長)

(3) 令和7年度 学校評価報告書 (資料5)

(4) その他

(1) 部会の報告について (各部部长)

○鈴木会長より開会の挨拶。次の年度に向けて進めていきたい。

※委員の参加が6名となっており、定数を満たしているため開催

(学校評価部会の報告)

○佐々木部部长より報告 (資料1、資料2)。令和7年度第2回「生徒による授業評価」集計結果、令和7年度学校評価に係る校内評価集計結果について、評価部会での検討事項を報告。

○電子黒板の活用が進んでいることや、スタディサプリといったアプリを効果的に利用していることが伝えられた。

●探求学習における問題解決能力の育成について、取組をさらに深めること、また、地域と連携した教育活動のさらなる充実を図っていくことが今後の課題である。

○資料1の「生徒による授業評価」集計結果については、自由記述欄の意見も集めて、検討した方がいい。

○地域の企業との連携を強くし、生徒たちと企業をつなぐことによって生徒の教育による効果を生むかもしれない。

(地域連携部会の報告)

○鈴木部部长より報告 (資料3)。新たな地域連携等について地域部会での検討事項を報告。

○あおば支援学校との連携は、ダンス部、合唱部、男女フットサル部、ジャグリング部などで実施されている。

○本校生徒があおば支援学校高等部の生徒と部活動を通して交流を行った。

●合唱部で参加をしたが、歌うことを通じて交流することができた。また、地域清掃などでさらなる交流を深めていきたいと考えている。

(2) 学校からの報告について(資料4)(河合副校長)

●進路状況について、学校推薦型選抜(指定校)の合格者が昨年度の58名から73名と増加している。今年度は、早稲田大学から指定校の枠をいただいた。また、例年通り東京理科大学、横浜市立大学、GMARCHなどで複数名ずつの指定をいただいている。

●総合型選抜の受験者数、合格者数については、昨年度とあまり変化がなかった。

●大学入試共通テストに関しては、在籍者390名中、321名が申し込んだ。

●国公立大学は例年より少ないが、浪人生も含めて多くの実績を出している。

●第2回学校説明会を12月6日(土)に行い、約500名の来場者が集まり、本校ダンス部が演技を披露した。

●2学期球技大会は、12月22日(月)と23日(火)の2日間に分けて開催された。初日はPTA主催の豚汁の提供があり、2日目は、神奈川県スポーツセンタースポーツアリーナにて開催した。3学期球技大会は雨天のため中止となった。

○球技大会での豚汁の提供は、非常に好評であった。

●卒業証書授与式は、生徒1名につき保護者の参加を1名とし、県立音楽堂にて実施した。

●入学式については、横浜関内ホールにて実施することを予定している。

(3) 令和7年度 学校評価報告書(資料5)(各グループリーダーより)

●主体的に学ぶ力を習得するために、探究活動をすべての授業で取り入れている。本年度の11月の公開授業では、本校の取り組みを発表することができた。

●体育祭、文化祭、球技大会等の行事があるが、体育館の耐震工事の影響がある。以前からわかっていたことなので、野外でできることを増やしている。

●遅刻指導などは、個々の生徒に合わせた指導を行っている。本校では、かながわ子どもサポートドックを活用しており、困り感がある生徒に関しては、担任による面談を行うなどのサポートを行っている。

●各担任と連携して進路指導を行っている。2年次の修学旅行を境にして受験する気構えに気持ちを切り替えるようにしている。また、実力テストを実施して文系・理系の進路選択の判断材料としている。

●地域との連携については、横浜銀行との連携講座を実施した。また、あおば支援学校との連携もしている。引き続き、地域との連携を深めていく必要があると考えている。さらに、広報委員会を次年度より設置する予定である。ホームページの拡充は、引き続き行い学校の広報活動の強化を検討している。

●学校管理・学校運営面では、教員の人権研修を行っている。また、時間外労働の削減に

努めている。

・上記の報告事項に関する質疑応答、意見

○総合的な探究の時間ではどのような取組を行っているのか。

●2学年においては、日本政策金融公庫の高校生ビジネスプラン・グランプリに応募している。各クラスでビジネスの仕組みやプラン作成、地域課題解決をテーマとした授業を実施し、次世代の創業マインド向上と、主体的・対話的な深い学びを促進している。

○広報委員会ではどのようなことをするのか。

●学校説明会等での生徒が広報に協力することを考えている。

○体育館にエアコンを設置することはできないのか。

●県立高校の体育館への設置は少しずつ始まっているが、すぐに設置することは難しい。

○体育館の改修工事に伴い、日々の部活動はどのようにしているか。

●あおば支援学校や近隣の小中学校の体育館をお借りしている。

○自転車登校時はヘルメットを着けているか。

●十数名しか着けていないのが現状である。自転車のマナーについては、たびたび注意喚起を行っている。

(4) その他 【質疑応答、意見】

○生徒がボランティアを実施した場合は、単位を認めることはできないか。

●ボランティアを単位として認定はできるが、認定に必要な時間数が多い。

6 その他

●次回の学校運営協議会の開催は令和8年5月29日を予定している。